

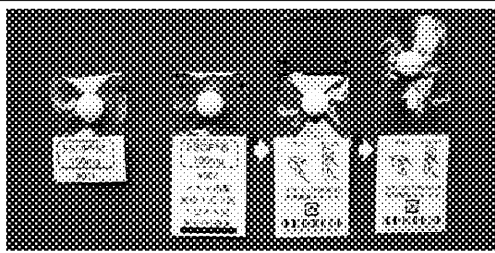
錠剤向けフィルム包装開発 環境負荷低減連携募る

モリモト医薬

モリモト医薬（大阪・市西淀川区、盛本修司社長）は、独自開発の医薬品錠剤向け包装技術「イソップ」で環境負荷低減に向けた開発連携先の募集を始めた。同技術は柔らかいプラスチックフィルムで錠剤を1錠ずつ包装する。素材の選定の工夫などで環境に優しい

医薬品包装を目指し、製薬会社や包装資材メーカー、素材メーカーなどの連携を探る。現在主流のPTPシートは凸型に成形したプラスチックシートとアルミニウム箔で錠剤を包む。プラスチックとアルミの分離が難しいため再利用しにくく、多くが廃棄物とな

っている。イソップはプラスチックのみを使うため分別回収や再利



▲柔らかいプラスチックフィルムのみで包装するイソップ
用がしやすい。さらに多層構造のフィルムを樹脂の種類別に回収可能にし、植物由来プラスチックや生分解性プラスチックの使用などで、いつそこの環境負荷低減を図る。
将来は大きさや包装の形状、表示などの規格を定め、PTPシートでは難しかった標準化を目指す。